

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年 3月 31日

2次評価日（課長等） 26年 月 日

1 事業名	シルキーチャンネル事業	コード	162204
-------	-------------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 広報情報課	作成者 伊藤和彦
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	開かれた市政運営の推進
		予算科目	シルキーチャンネル事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	操作性・普及率に優れた「テレビ」を使って行政情報の発信を行なう 動画放送の特性を活かし、身近な情報発信を行い親しんでもらえる行政チャンネルとする		
目的	対象者	市民全般	
	意図	慣れ親しんだテレビ放送で、市民の皆さんへ行政情報をわかり易く正確に伝えること	

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌、ホームページなどによる情報発信に加え、テレビを使って市からの情報発信を行なう。 ・ テレビの持つ「操作性」「利便性」「速報性」を活用し、通常のお知らせ的な情報に加え、災害情報などの緊急性の高いものを発信する。 ・ 市民参加型の番組、見て面白い番組を制作することで、認知度、視聴率を高める努力をしている。 ・ 新番組を制作し多分野の幅広い情報提供に心がけた。 ・ 広報おやか、新聞での番組案内、PRちらし配布などで、周知を行なっている。 			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新番組では地域性の高い話題やイベント、講演会などを取り上げ、市民ニーズに対応した番組制作に心がけた。 ・ 姉妹都市の連携により相互で番組提供、放送を行った。 ・ 番組放送に係る委託化の検討を行った。 		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	年間に放送した動画番組（自主制作番組）			単位	本
実績値	100	125	128		
*指標の説明	議会中継、緊急放送を除く				
② 成果指標（指標名）	視聴状況（認知度の向上）アンケート結果			単位	%
目標値	85	85	85		
実績値	28	23	31		
達成度	32.9%	27.1%	36.5%		
*指標の説明	シルキーチャンネルを知っており、かつ情報の受け取りに活用している。				
*目標値の設定方法の説明	LCV加入世帯（視聴可能世帯）が市内の約85%を占めていることから市民アンケート結果を指標に使うことができる				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	16,429,453	17,198,093	12,845,339	13,714,000
経常経費	16,429,453	17,198,093	12,845,339	13,714,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	10,400,000	10,400,000	10,400,000	10,400,000
正規職員の人数(人)	1.30	1.30	1.30	1.30
③ 合計コスト(①+②)	26,829,453	27,598,093	23,245,339	24,114,000
前年度比		102.9%	84.2%	103.7%
財源内訳				
一般財源	26,829,453	27,598,093	23,245,339	24,114,000
特定財源	0	0	0	
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	268,295	220,785	181,604	
前年度比		82.3%	82.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		0
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	134.8%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。		0
成果指標の目標値 達成度	36.5%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常放送において、動画の発信は専門知識を必要とする部分があることから、スキルの習得に時間がかかる。 ・業務委託方式を引続き検討（番組作成を委託した場合にも、番組企画や各課交渉、完成品の検収、プログラミング等の多くの業務は残りながらも、高額な委託料の経費が掛かる。） ・災害情報等のこまめな情報発信や、取材時PRちらしを配布する等、シルキーチャンネルの周知に努め <p>徐々に認知度、視聴率も上がってきているが視聴率（認知率）が低い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民が関心を示し、楽しんで視聴できる番組が少ない。 	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型（子供など）の番組を増やすことにより、視聴率の増加につなげる。 ・他市町村との連携による番組の提供。 ・デジタル化によりシルキーチャンネルの視聴機会も増加傾向にあるため、親しみのある地域のイベント、講演会などを取り上げ放送する。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	--------------------------------------------------	--